

## 亀山・商店街 in ART アートフォーラム三重 2008 盛況でした

11月2日から2週間、東町商店街を中心に「商店街 in ARTアートフォーラム2008」が開催され、遠方からも多数来訪がありました。最終日のシンポジウムからパネラーの皆さんの感想と今後への想いを拾ってみました。

### ◆女性達が動けばうまくいく？

地域の方々が積極的に支援してくださらないと物事はうまく成立しないのですが、「商店街の特に女性達が非常に熱心に動いて下さる」それならうまくいくと思いました。

### ◆亀山は素敵なまち

お城があって、高低差のある地形。ロマンを感じさせていただける良い町だなと思いました。「店をちょっと貸して下さいね」と言ったら「ああ、どうぞ」という感じで協力的で、気持ち良く第一歩が踏み出せました。それから大きな動きになってきて、みんなの力の大きさというのは、びっくりするほどひしひしと感じます。

### ◆外からの空気を入れる

「他者を受け入れないモノは滅ぶ」という言葉があります。内向きだけの動きではいけない。商店街の人とアーティスト、それから行政の三者がいかに協働するかで、成功度が決まります。この商店街のアートは、非常に手づくり感があって、“脱美術館” “Off Gallery” という形の世界に広がったものです。

### ◆参加することが面白い

傍観者では面白くない。家庭的な、手づくり感のある展示会は今までなかった。それが今回のイベントの一番良いところだったと思っています。いろんな作家が、ふだんの試みを一つ超えるような行為を、非常に地元の商店の方と膝を交えながら話しをしてやってきたことが、少し垣間見えたと思います。

### ◆子どもたちも若者も

流木を拾ってきて、子どもたちと流木造形を始めたのです。それで新しいものを作ろうと何かに見立てる、そのプロセスを大事にしました。

子どもたちとペットボトルとティッシュペーパーで、卵のアートを作りました。ふだんの美術教育にはない活動で、このまちを巻き込んで一体になったと思っています。

高校生のボランティアの方と、アーケードに付ける130枚ほどの布旗を準備する作業では非常に盛り上がりました。



熊野からの来訪の皆さん



子ども達もアートに参加

### ◆創造へと

今回の企画は、もしかしたら次の時代に何かプラスになるようなものを生み出すのではないかと期待感が感じられます。新しい美術の運動が亀山で起こりつつあるわけですが、三重県のほかの地域ではまだないと思いますので、ぜひこれを亀山ブランドとして育てていただければと思います。

商店街の人たちも、この亀山のまちをどのようにしていくか、どこまで愛せるかと考えています。

アーティストだって自分の作品が鍛え上げられ、内輪で描いてギャラリーで発表するだけでない価値を感じたと思うのですね。これが一番大事だと思います。



## 市民交流の日 レポート 11月21日(金) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」

### テーマ:「美し国おこし・三重って何？」

基本理念には「人と人、人と地域、人と自然の“絆”を紡ぎ上げ、神話や伝説に語り継がれるにふさわしい「美(うま)し国 三重」をつくります。」とあります。

コンセプトには「文化力」を生かした持続する地域づくり

文化力とは「文化の持つ、人や地域を元気にし、暮らしをより良くしていく力及び人や地域が持っている人々を引きつけ魅了する力」だそうです。でもよくわからないので県から説明に来ていただきました。

質問: この事業は、2008年から始まるようだが、2014年で終わりなのか?

答: そうです。

質問: なぜこんなに難しくしているのか。シンクタンクなり大学の先生が考えたようだが、単純なものを複雑に考えているのではないか。

答: 人のつながりをつくる地道な地域づくりです。2014年には、成果発表のイベントもします。来年には、広報イベントもします。積極的に関わりをもってほしい。

質問: 財政支援は新規事業でないか。

今まで何年も活動している団体も認められるのか。

答: 既存の活動は対象外です。既存の活動をベースに、バージョンアップした活動であれば対象になります。

質問: 県は、解決しなければならない問題があるのに、自分たちの役割を果たしてこなかった。経済の悪化や縮小が見えてきているのに、なぜ今予算を使ってこんなことを始めるのか。

答: イベントではなく、地域活動の振興事業である。人的支援、情報発信も取り組んでいきます。

意見: 自立自立だといって放りっぱなしにされる。過去にもそのようなことがあった。税金を納めているのだから、しっかり法律に基づいてやってもらわないといけない。

質問: 県が、企業を回って団塊の世代を発掘とかしたらどうか。

答: この事業によって、新しい人材が発掘されることを期待しているし、既存のグループの一段アップも応じます。新しい人材の発掘は難しいだろうが、この事業に市民の方々に参加してもらえればいい。

質問: 3年で補助打ち切りなら金の使い方が有効でない。精神的な支柱が立てられない。言葉だけではやれない。ほとんどの団体が小グループでやっているしネットワークがうまくやっていない。

意見: 地域にそれぞれ特徴がある、絞ることも必要。ある程度地域でなにをやるのか分析し絞ったら。今後は人口は減っていくしそうだと活力は維持できない。家庭、育児等をヨーロッパ並みにしないと。三重県もそれを考えないといけない。文化力には基礎的な力が必要。素養が必要。義務教育に資金を投入したほうがいい。

答: 市の補助金制度と違う事業であるが、市の制度と調整を図りたい。

質問: アドバイスをもらえる有識者の見解等がほしいときがある。

答: 学識経験者の派遣ならできます。

意見: 財政厳しい折りにこんなことやってもいいのか。理念よりこんなことをしますの方がわかりやすい。既存で頑張っている方にパワーアップしてもらい育成することが大切。展開させていくかが大切。県の職員がいかにかんをかくか、行政がいかになすか、組織力財政力があるのに市民に振るのはおかしい。自分たちから掘り起こさないと。

### 12月21日(日)のテーマ:「食の安全」

★ 休日ですので時間は、午前9時00分～11時00分です。

あなたもぜひ、ご参加ください。( ^ O ^ )

～ 輪を広げましょう! どなたでも自由に気軽に参加できます ～







## 第3回「ひとのわコンサート」開催 広がれ「ひとのわ」の思い伝えて!

～2008年11月9日 in 亀山市文化会館大ホール～

第3回「ひとのわコンサート」は、おかげ様で館内をますます埋めるほどのお客様を迎える事ができました。皆様のご支援、心から感謝申し上げます。

オープニングは、大型スクリーンに古い町並みの様子からアートが展示されている今の町の様子を投影し、懐かしさに観客のどよめきが起こりました。第一部のOH! 人生男声合唱団の力強く、湧き出るような歌声と共に、舞台両袖から二人のアート作家が現れ制作開始。お客さんは舞台全体に展開する光景に、圧倒されている様子でした。第二部は、がらりと雰囲気が変わり、声楽家二人の演奏で、素晴らしい歌声がホールの隅々まで響きわたりました。「音楽とアートのまわりにひとのわを!」とよびかけさせて頂きこうしてたくさんの「ひとのわ」を作ることができました。コラボが大成功に実り、演奏後、合唱団(名古屋市内にて活動)の皆さんはバスを市民協働センター「みらい」の駐車場へ付け、アート展示の商店街を楽しみ帰路につかれました。(林)



公開制作 高山 大さん  
～ ロクロがまわり始めました ～

<第一部>「おじん達の大冒険」  
男性合唱団の沸きあがる歌声と共に  
アート作家の公開制作始まる!  
「OH! 人生男声合唱団」の演奏



<第二部>「日本歌曲とアリアの調べ」  
会場に響きわたる美しい歌声!  
声楽家 バリトン 羽根功二さん  
メゾソプラノ 小林まゆみさん  
ピアノ 中谷真弓さん

公開制作 洋画家 小垣内学さん  
～ 作品は安楽川からの光景～



## まちかど博物館「みらい」でオープン～懐かしい昭和の雑貨、メンコなど展示～

♪♪ もしも、お宝あったなら あなたの都合のいい日には

みんなに披露をしませんか そこから広がるひとのわが

やがてあなたの生きがいに それがまちかど博物館 ♪♪

「もしもピアノが弾けたなら」の替え歌

まちかど博物館とは、自分の家で、ちょっと面白いようなコレクションを都合の良い日に皆さんに披露することです。桑名や長島そして鈴鹿でも「まちかど博物館」が増えていますが亀山はまだまだです。

その第一歩として11月28日から12月12日まで「みらい」で昭和のなつかしグッズの展示がありました。「めんこ」やブリキのおもちゃ、映画のポスターやグリコの看板まで、きっと思い出があることでしょう。もし皆さんの家の物置にでも昔の面白いグッズがあったら「まちかど博物館」として開けたらいかがでしょうか。展示の広報活動はこちらでします。



連絡先: 市民協働センター内(TEL 84-5800) 亀山まちかど博物館準備委員会 鈴木



## あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などの代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これから活動を始めの方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、ソーラン「多門」の柴田 澄子さんです。

私達「多門」は、平成16年11月亀山市制50周年記念発表会の中で、亀山市が元気に発展する演目の一つとして考えられ結成されたグループです。当時は男女20名程で中高年ばかりでしたので、ソーランの踊りを練習する度に息切れがして「ハァーハァー」でした。衣装も自分達で作ることになり、タスキや長半てん、足元の長タビまでそろえました。そして初めて舞台上がり披露することができました。その時の満足感は何にも変えられない素晴らしいもので、とても良い経験となりました。ソーランを踊ることで、こんなにいい仲間ができた事に感謝しています。



現在は、その時の仲間が減り、若い親子がたくさん入ってくれまして、(他人ではありますが)三世代(5歳～67歳まで)総員25名程のグループで仲良く楽しく活動しています。母親について来た子どもたちが(お兄ちゃんやお姉ちゃん、赤ちゃんまでもが)いつの間にか私達の演技を覚えて、今は、鳴子片手に一緒に踊っています。これから先が本当に楽しみです。

指導は、ソーラン仲間や鈴鹿の若者との共演により、新しい演舞も教えてもらっています。

今は、亀山の年間行事である「桜まつり」「納涼会」「関宿街道まつり」「市民交流祭」「生涯学習フェスティバル」ほか「地域コミュニティ」の催しの中でソーランを披露させてもらっています。

練習場所は、市民協働センター「みらい」ができたことで心配がなくなりました。「みらい」は土・日の夜まで使えるので、毎週土・日に「みらい」で楽しく練習できるようになりました。おかげで、以前はソーラン1曲しか踊れなかったのが、今は5曲くらい踊れるようになりました。



「生涯学習フェスティバル」文化会館にて



今年は思い切って、仲間と会のシンボルにと、半てんとTシャツに「多門」の名を入れたものを作りました。これを着てソーランを踊ってくれる仲間をもっと増やしていきたいと思っています。

ソーランを踊ると元気になりますよ!楽しく一緒に踊ってくれる方々をお待ちしています。

「多門」連絡先：  
82-5557 柴田

「桜まつり」多聞橋近くにて





## 私たちのまちの企業

「企業の社会貢献活動」や「企業が行政と協働してまちづくりに参画している様子」などをご紹介します。

今回は、株式会社 日商の活動をご紹介します。



株式会社 日商 では、年2回“エコロジー（環境）”と“ローカル（地域還元）”をテーマに、地域社会の一員として社会貢献活動を行っています。11月29日(土)当社の従業員20名が社内や事業所周辺の清掃活動を行う『クリーン大作戦』に取り組みました。



また、11月15日(土)には『環境問題/地球温暖化』について講習会を行いました。今回の講習の内容は“個人から始めるエコ活動”でした。

今後も3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）活動をさらに強化推進していきます。



～ 株式会社 日商は平成18年12月に亀山市布気町に移転しました。 ～  
〒519-0166 亀山市布気町550番地4  
TEL(0595)84-2424 FAX(0595)84-2425 <http://www.nissyō-net.co.jp>

- 業務内容：
- 一般貨物自動車運送事業
  - 一般労働者派遣事業
  - 有料職業紹介事業
  - 自動車分解整備事業
  - 指定自動車整備事業
  - 産業廃棄物収集運搬業
  - 倉庫業
  - 工場内外作業
  - 各種清掃業
  - 飲食業（FC店運営）

## 亀山あるこうかい 金王道(このうみち)をたずねて

天候に恵まれた11月23日、JR下庄駅に降り立った約50名の皆さん。最年少は7歳のお嬢さんです。金王道とは亀山の南部丘陵地帯を横切る古道で、今回は特に昔のままの姿を残す東部を歩きました。この部分は地図にも記載が無く、参考資料も無いので、何度かスタッフや市史研究者が現地を調べてこの日に備えました。下庄の集落を抜けると1000年の歴史を持つという江（えの）神社です。

ここから急坂を登り、コテンバと呼ばれた平坦地に出ました。金王道はこの部分を通っていたようです。古い道形を進み見晴らしの良い丘でお弁当としました。そこで亀山市史料調査員の草川さんからこの古道を舞台とした歴史の大事業、平治の乱での渋谷金丸の駆け抜けや家康の伊賀越え逃亡の話をしていただきました。金王道は鈴鹿の岸岡から関の古厩までつながっていたとされますが、開発によりたどれる部分は多くありません。それだけにこの部分は地域ブランドともいえる貴重な古道です。更に西に歩を進め、二本松団地を抜け、再び昔の道となり東部の部分を終えました。



「あるこうかい」では、来年3月15日には関駅から工業団地の西北に広がる水辺公園までの細道を歩く予定です。 (伊藤幸) 亀山あるこうかいクラブ連絡先：090-7864-3343 不破



## 第9回市民交流会

とき 2009年2月8日(日)  
午前9時30分～午後3時30分  
ところ 三重県立亀山高校



次回の第9回市民交流会実行委員会は、

とき 12月22日(月)午後7時30分～  
ところ 市民協働センター「みらい」1階ホール  
みなさん、お越してください。一緒に市民交流会を成功させましょう!



★ 世代を超え、地域を越えて楽しい一日をすごしましょう。

★ 今回のメインテーマは、「語ろう減災 チャレンジ減災」

★ **基調講演:「新型インフルエンザについて」**

★ 国立三重病院 院長 庵原 俊昭 氏

★ 《分科会テーマ》

- ★ ① 風水害からの減災
- ★ ② 地震災害からの減災
- ★ ③ 犯罪からの減災
- ★ ④ 病からの減災



うらないコーナー

あそび心いっぱい!  
おもう災い 招こう幸せ



昼食  
あります!  
非常食を体験

主催: 第9回市民交流会実行委員会

問合先: 市民部 市民相談・協働推進室

電話: 84-5008

次号市民活動ニュース(2009年1月16日号)は市広報が無いので  
各戸回覧はされませんが各公共施設とネット版でご覧いただけます。

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談・協働推進室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@city.kameyama.mie.jp)  
又は、市民協働センターみらい (Tel.84-5800 Fax.84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp、  
東町一丁目8番7号)へご連絡ください。

編集作成: 「きらめき亀山21」広報部 (問合せ先: 亀山市市民部市民相談・協働推進室 〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)  
市民活動ニュース入手場所: 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・  
医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり  
関センター・関B&G海洋センター・青少年研修センター・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・  
市民のショップねこの館・茶気茶気・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター (津市)  
ホームページ <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>  
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。